

ねがたびと

題字：降矢玄龍先生

第57号

発行日 令和7年6月2日

発行者 根形交流センター
(根形公民館)

袖ヶ浦市下新田 1277

☎ 0438-62-6161

令和7年度、講座がぞくぞくと始まっています！

まずは、「子ども絵画教室」からスタートしました

令和7年度の講座が、5月10日(土)の子ども絵画教室(市内小学校4年~6年)を皮切りに、ぞくぞくとスタートしています。子ども絵画教室は、水彩画を学びながら友達作りと豊かな感性を養うことを目的に、土曜日の午前、年間9回実施しています。子どもを対象とした絵画教室があるのは根形交流センターだけです。今年度は市内5校の小学生11名が教室生となりました。講師は古谷則子先生で、明るく、元気で、気さくな人柄です。子どもたちにもとても慕われています。また、子供たちの作品は公民館まつりやサークル作品展に出展します。



今年度の教室の様子



「成人絵画教室」もスタートしました

5月17日(土)、成人絵画教室が教室生9名でスタートしました。成人絵画教室は、静物画や風景写生など、毎回違うテーマを取り上げて水彩画や油絵の基本的な知識・技術を習得することを目的に、土曜日の午前、年間10回実施しています。また、講座生相互の交流と今後の自主的な活動へのきっかけづくりを行うとともに、学習の成果として根形公民館まつりとサークル作品展に作品を出展しています。講師は伊藤景子先生で、多彩な技術と知識、豊富な経験から、毎回楽しく教室生を絵画の世界に引き込んでくれます。興味のある方は問合せ下さい。



今年度の教室の様子



今年度の教室の作品

「ニコニコ教室(高齢者教室)」もスタートしました

「根形ニコニコ教室」は、根形地区にお住まいの60歳以上の方を対象とした教室です。健康・教養・軽スポーツなどの学習・交流活動を通じて、一人ひとりの生きがいを促進し、仲間づくりを行っています。ほぼ月1回のペースで年間10回開催し、教室生同士の会話もはずんで認知症予防にもつながっています。今年度は5月21日(水)のレクリエーションスポーツ(ポッチャ)をスタートに、6月18日(水)生活の中でできる介護予防、7月16日(水)フレイル予防講座、8月3日(土)ねがたファミリーコンサート、9月26日(金)防災食を作ろう、と楽しい企画が目白押しです。興味のある方は是非問合せ下さい。



今年度の教室の様子

「サークル作品展」を開催しました!

令和6年度第17回根形公民館サークル作品展を令和7年3月15日(土)~3月23日(日)の9日間、根形交流センターの多目的ホールで開催しました。陶芸(10団体)258作品、絵画(7団体)84作品、書道(2団体)20作品、合計19団体から362の作品が会場内いっぱいに展示されました。会期中は市内外から512名と多くの方に来観いただきました。

来観者からは「毎年作品展ができて素晴らしいですね。こんなにたくさんのサークルが根形公民館で活動しているのですね。素晴らしいと思います。」「毎回足を運んでいます、皆様の日々の努力で造られた作品に感動しています。次回を楽しみにしています。」「1つ1つの作品に作者の気持ちが、頑張っている姿が見えるようでした。私自信も何かに夢中になって打ち込めるものを見つけて、子どもと共有できたらと考えている所です。とても力強さと元気をもらいました。」など、賞賛や励ましの言葉を多くいただきました。ありがとうございました。



新しい職員・社会教育推進員をご紹介します

よろしく
お願いします！

4月から根形交流センターの職員2名、社会教育推進員1名が新たになりました。



公民館館長・交流センター所長
大野 正彦

加藤宏明館長の後任です。
君津市在住です。
花まる絵画教室、地域再発
見講座を担当します。



交流センター主査
戸塚 愛佳

葛田陽子主幹の後任で
す。袖ヶ浦市在住です。
成人絵画教室とニコニコ
教室を担当します。



社会教育推進員
剣持 明美さん

のぞみ野在住です。
成人絵画教室と小・中
学校家庭教育学級を担
当します。

根っ子の会総会・研修会を開催しました

青少年育成袖ヶ浦市根形地区住民会議、いわゆる「根っ子の会」の総会及び研修会が、5月18日（日）根形交流センター視聴覚室で開催されました。根っ子の会は、学校・家庭・地域の連携を深めて地域の子どもたちの健全育成を目的として活動しています。年間の主な活動は、夏の「根形わくドキ体験」、夏・冬の愛のパトロール、青少年健全育成標語看板設置など、根形の子どもたちの健やかな成長を支える活動をしています。今年度は保坂勝美会長、他99名のメンバーが登録されています。また総会後の研修会では、根形駐在所の倉持警部補から根形地区や市内、県内等で起こっている事故や窃盗、特殊詐欺等の情報提供や被害対策等について、講話をいただきました。



今年も絶対やります！ ねがたオープンキャンパス （ねこまろ）

今年度の開催予定日をお知らせします。「通常版」は7月24日(木)と25日(金)の2日間、「特別版」は8月9日(土)と23日(土)の2日間です。

大学生や社会人を中心とした若者のグループ(N.O.C)のメンバーが、根形地区の子どもたちに楽しんでもらいたいとアイデアを出し合い、現在企画中です。乞うご期待ください。



昨年度のねこまろ

根形交流センター図書室を、ご利用ください！



水・金・日は、
脇屋さんがお待
ちしています！

根形交流センター図書室は、令和3年度から原則水曜日・金曜日・日曜日の3日間を1人の司書(脇屋さん)が管理しています。司書のいない火曜日・木曜日・土曜日は交流センター職員や管理人が、貸出業務や返却業務、予約・リクエストカードの受け取りを代行していますので、交流センター窓口にお声掛けください。袖ヶ浦市では、0歳の赤ちゃんでも利用券を作ることができます。また、「ふれあい読書コーナー」は、現在利用可能となっています。小さなお子さん連れの保護者の皆さん、本を広げながらゆっくりとお過ごしいただけます。是非ご利用ください。

根形歴史さんぽ 飽富神社の石灯籠と狛犬

郷土博物館 稲木章宏

えんぎしきじんみょうちよう

平安時代中期に書かれた延喜式神名帳には、上総の古い神社として、玉前神社(一宮町)、橘樹神社(茂原市)、島穴神社・姉崎神社(市原市)、飽富神社(袖ヶ浦市)の五坐が載ります。ご存じのとおり飽富神社は飯富、下新田、神納、奈良輪、蔵波、そして木更津市域の曾根、井尻、有吉と8ヶ村の総鎮守として心の拠りどころとなってきました。因みにこの範囲は中世の飢富庄おふのしよという荘園の範囲と目されています。

先年、飽富神社のあるものがSNSで大きな話題となりました。それは、文久2(1862)年に造立された石灯籠です。この石灯籠は一对



となっており、「商人中」とあることから商人仲間を中心として、20数か村の協力を得て奉納されたとわかります。

基礎の石組みの周りに小さな狛犬

はいでん

たちが4匹、拝殿前の巨大な狛犬(天保9年:1838造立)を親と見立てると、まるでその親から身を隠すように、上からのぞきこんだり逆立ちしたりして戯れています。足の底には肉球が見え、つい触れてみたくなる可愛さです。よく観察すると、この小さな狛犬たちは、見事に石灯籠の部品として組み込まれていることも判ります。親であろう巨大な狛犬は、おそらく君津地方最大であり、その作者は木更津村寺町の重田三五郎という石工です。そして石灯籠に付く子どもたちは木更津村田面の安田金兵衛という石工の作です。金兵衛、三五郎ともに江戸時代後期の文化年間(1804~1818年)から登場しますが、特に金兵衛は透彫技法すかしぼりを駆使し、その仕事ぶりには名工と称される技をみることができます。

この石灯籠の竿部さおには龍の浮彫りが施されています。同じデザインの龍は、坂戸神社拝殿前、右側の手水屋の手洗石台石(安政5年:1858)や、木更津市長須賀日枝神社の鳥居の扁額にもみられます。惜しむらくは、この龍の彫られた竿部は、やや軟質の凝灰岩が用いられているため風化が進んでいることです。この石材は、おそらく伊豆半島東海岸の南側あたりで産出されたものと思われます。



石灯籠石組の狛犬



坂戸神社手洗石台石の



石灯籠竿部の龍